

審査員プロフィール

北井 一夫 (きたい かずお・写真家)

1944年、中国旧満州鞍山市生まれ。1965年、日本大学芸術学部写真学科中退。写真集「抵抗」未来社。1971年、写真集「三里塚」のら社。1972年、「三里塚」で日本写真協会新人賞受賞。1974年～1977年、アサヒカメラ「村へ」「そして村へ」連載。1976年、「村へ」で第1回木村伊兵衛賞受賞。1979年、アサヒカメラ連載「ドイツ表現派の旅」。1980年、写真集「村へ」淡交社。1981年、写真集「新世界物語」長征社。1990年、写真集「いつか見た風景」蒼穹舎。1994年、写真集「おてんき」宝島社。2001年、写真集「1970年代 NIPPON」冬青社。写真集「1990年代北京」冬青社。2004年、写真展タイムトンネルシリーズ「写真の形と時代」リクルート。2005年～2013年、日本カメラ連載「ライカで散歩」。2006年、写真集「'80フナバシストーリー」冬青社。写真展「村へ」東京国立近代美術館。2008年、写真集「ドイツ表現派 1920年代の旅」冬青社。2009年、写真集「Walking with Leica・1、2」冬青社。2010年、写真展「Kitai Kazuo in China 1973」禅フォトギャラリー。写真集「西班牙の夜」冬青社。2011年、写真集「Walking with Leica・3」冬青社。2012年、写真集「三里塚」がマーティン・パー編集の『プロテストボックス』（シュタイデル社）の1冊に選定、復刻される。写真集「バリケード」ハーパー・ブックス。写真展「バリケード」ハーパー・ブックス・ギャラリー（米国イースト・ハンプトン）。写真展「いつか見た風景」東京都写真美術館。写真展「過激派」禅フォトギャラリー。写真展「神戸港湾労働者」ギャラリー冬青。2013年、日本写真協会作家賞受賞。2014年、写真展「Color いつか見た風景」キャノン・ギャラリーS。写真展「村へ」ツァイト・フォト・サロン。写真集「道」禅フォトギャラリー。同写真展。2015年、写真集「抵抗・カラー補足版」自費出版。写真展「北京・1990年代」ツァイト・フォト・サロン。写真集「過激派」オンリーフォトグラフィー。2016年、写真集「津軽、下北」NZ[ナツアエリ・プレス]（米国）、同写真展禅フォトギャラリー。写真集「流れ雲旅」ワイズ出版。2018年、写真展「プロパガンダ」ブリケンギャラリー。写真展「フナバシストーリー」Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku。写真展「The Origins of Japanese Contemporary Photography」韓国、釜山、古隠写真美術館。2019年、写真展「シカゴグループ」ブリケンギャラリー。2020年、初のデジタルによる写真集「道」のら社。同写真展ブリケンギャラリー。写真集「過激派の時代」平凡社 2021年、写真展「千の葉の芸術祭 CHIBA FOTO」写真集の裏側」。写真集「Color いつか見た風景」合同会社 PCT。

中里 和人 (なかざと かつひと・写真家)

1956年三重県生まれ。1979年法政大学文学部地理学科卒業。日本の地誌的ランドスケープを中心に、社会的な場所性写真展、写真インスタレーション、写真ワークショップを各地で開催。社会的な場所性、地域特性を読み込んだアートイベント、写真インスタレーションとして、向島ネットワークス(東京都墨田区)、まちがミュージアム(富士吉田市)、WANAKIO(沖縄県那覇市)、越後妻有アートトリエンナーレ 2012、2015(新潟県十日町市)、SOFT CITY(ドイツ・ベルリン)、すみだ向島 EXPO2020 など多数開催。

主な写真展に 2015年「lux」新宿二コンサロン、2016年韓国テグ国際写真ビエンナーレ。2018年「小屋とMABU」越後妻有絵本と木の実の美術館企画、「SOFT CITY」ドイツ・ベルリン、「transitions」ドイツハンブルク「Night in Earth」銀座巷房、「光ノ漂着」銀座巷房、墨田区竹内建具製作所「東京プロジェクト Tokei-Tokyo」。写真集に『湾岸原野』（六興出版）、『小屋の肖像』（メディアファクトリー）、『キリコの街』（ワイズ出版）、『路地』、『4つの町』、『グリム』（清流出版）、『東京』（木土水）、『R』（冬青社）、『ULTRA』（日本カメラ社）、『龍宮』（sana-v）、『lux water tunnel land tunnel』（ワイズ出版）、『Night in Earth』（蒼穹舎）などがある。共著に『夜旅』文／中野純（河出書房新社）、『石はきれい、石は不思議』（INAX 出版）、写真絵本『こやたちのひとりごと』文／谷川俊太郎（ブリケン出版）、『東京サイハテ観光』文／中野純、『セルフビルド』文／石山修武（交通新聞社）、『花』花いけ／上野雄次（JIKONKA）。映像作品に『BOSO TIME TUNNELE』（sana-v）などがある。

東京造形大学教授。2018年日本写真協会賞審査員。2021年度三重県展審査員。

2003年第15回写真の会賞受賞。2005年さがみはら写真新人奨励賞受賞。

<http://www.nakazato.info/>